

平成 27 年度 千葉県自閉症協会活動報告

全般的活動（会長：大屋）

1. 千葉県における自閉症、発達障害の人たちを代表する団体として活動しました。
千葉県自閉症協会を構成する 17 地区自閉症協会に所属している会員総数は、28 年 4 月 1 日時点で 856 名です。
2. 地区会との協力をいただき、千葉県自閉症協会の運営を行いました。理事会を 6 回開催し、役員メーリングリストを活用して、迅速な情報と意見交換を行いました。
3. 事業部、Will クラブ事業部、総務部、広報部において、種々の事業を行いました。
4. 自閉症児者の教育、福祉、就労などの相談を行いました。
5. 世界自閉症啓発デーイベントを開催しました。
6. 自閉症に関する講演会を開催し、啓発活動を行いました。
7. 広報誌を発行しました。ホームページを運営しました。
8. 地区会長会議を開催し、地区会の現状、県協会への要望を協議しました。
9. 健康福祉、特別支援教育行政、他の障害者団体との協力及び連携を行いました。
10. 千葉県の福祉、教育に関わる会議に委員として参加しました。
千葉県障害者施策推進協議会、障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり推進会議、千葉県袖ヶ浦福祉センター見直し進捗管理委員会、千葉県発達障害者支援センター連携協議会、千葉県障害児教育研究推進会議 大屋滋
袖ヶ浦福祉センター更生園強度行動障害支援事業利用等審査会 竹蓋伸六
障害のある人の相談に関する調整委員会 阿部 明子
千葉県総合支援協議会 入所・地域生活支援専門部会 白水幹久
千葉県総合支援協議会 療育支援専門部会 小野幸子
11. 障害者差別解消法に関して、県に具体的要望を行いました。
12. 社団法人日本自閉症協会からの委託業務を行いました。また、役員、委員として参加しました。
出版部委員：白水幹久
ASJ 共済事業給付監査委員：高橋純子
ASJ ペアレントメンター電話相談員：四家秀治
13. 県内、他の都道府県の医療・教育・福祉など団体の依頼を受け、講演や研修などの活動を行いました。

各部局活動報告

事務局

1. 地区自閉症協会の活動を支援しました。
印旛地区自閉症協会による講演会「発達が気になる子どもへのアプローチ」を後援しました。
2. 関係団体との連携、協力等を図りました。
 - ① TEACCH プログラム研究会の平成 27 年度セミナーを後援しました。
 - ② 平成 27 年度自立と社会参加推進会議（特別支援学校校長会・特別支援学校 PTA 連合会主催）に白水副会長出席しました。
 - ③ 第 8 回地域づくりフォーラム（主催：地域づくりフォーラム実行委員会）後援しました。
 - ④ 「第 40 回千葉県特別支援教育振興大会」「第 41 回千葉市特別支援教育振興大会」「第 40 回市原市特別支援教育振興大会」の実行委員として冨江理事が参加しました。
3. 2015 年列車の旅プレゼント実行委員会主催（東日本旅客鉄道労働組合千葉地方本部・東日本旅客鉄道株式会社千葉支社）による「2015 年列車の旅プレゼント」（千葉県立内浦山県民の森 10 月 17 日実施）に 8 家族 19 名が参加しました。
4. 国土交通省関東運輸局千葉運輸支局の「バリアフリーネットワーク会議」への出席を松戸市自閉症協会 角口会長に依頼、角口松戸自閉症協会会長が出席しました。
5. 講演会・研修会等の案内をし、会員への周知に努めました。
6. ASC 事務所の管理（郵便、ファックス等への対応・整理）をしました。
7. ASJ 共済事業給付監査委員会に高橋理事が出席しました。

平成 27 年度給付監査担当日

4 月 1 日、5 月 14 日、8 月 5 日、10 月 15 日、1 月 13 日

3 月末現在加入者：協会 3,061 人、施設 1,713 人、事務局 1,354 人、合計 6,128 人

ASJ ペアレントメンター電話相談員として月 1 回、四家理事が対応しました。

総務部

1. 日本自閉症協会「いとご」「かがやき」直送会員名簿作成と管理、及びそれに伴う千葉県地区自閉症協会との入・退会、訂正受付と年会費納入の業務を行いました。
2. 千葉県自閉症協会団体会員・支援会員の入・退会受付と会員への連絡を行いました。
3. 会員・団体の個人情報保護管理の徹底を図りました。
4. 県・国庫補助金申請事務業務を行いました。
5. 日常の金銭出納及び会計帳簿、伝票等諸証書、預金通帳の管理等金銭管理業務を行いました。

担当者 一般・特別会計 渡邊政志

6. 親子の旅事業の事務処理と11月23日 日帰り親子遠足（東京都水の科学館）を実施しました。

広報部

1. 広報誌「みち」87号を平成27年9月23日に2,400部、「みち」88号を平成28年3月13日に2,400部発行しました。
2. 千葉県自閉症協会講演会「行動障害への支援（講師：千葉県発達障害者支援センター副センター長・発達支援担当 田熊 立博士）」の抄録を作成し「みち87号」に掲載しました。
3. 「みち」に連載掲載しました各地区協会の活動模様の記事の抜き刷り別冊を作成しました。
4. 千葉県自閉症協会のホームページを管理、運営し、会の活動、イベントの案内等の情報を適時に発信しました。
5. 会員用メーリングリストを管理、運営しました。

事業部

- 1 千葉県自閉症協会講演会（シンポジウム）を開催しました。

日 時：平成28年2月21日（日）13：30～17：00

場 所：千葉市ビジネス支援センター（きぼーる）13階会議室2・3

演 題：学校における自閉症の児童生徒への合理的配慮

内 容：第1部 講演

「一人一人の教育的ニーズに応じた『合理的配慮』の提供を目指して」

講師 千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課課長 岡田 哲也氏

「特別支援教育ということ」

講師 千葉県立柏中央高等学校校長 佐久間 敦子氏

「特別支援学校における合理的配慮」

講師 千葉県立八日市場特別支援学校校長 西村 則子氏

第2部 パネルディスカッション

パネリスト 岡田 哲也氏 佐久間 敦子氏 西村 則子氏

佐瀬 史恵氏（旭市立干潟小学校 校長）

自閉症協会会員 澤田 晃司氏（流山市）

同 箱崎やよい氏（船橋市・Willクラブ）

司 会 大屋 滋

参加者数：117名

※千葉県教育委員会・千葉県発達障害者支援センターCAS・千葉市発達障害者支援センターの後援をいただきました。

2 成壮年自閉症課題研究会

懇談会を4回開催し、グループホーム、成年後見、日中活動、成年期の問題について話題提供を頂き懇談しました。別に、WITH US（青葉会グループホーム）の見学会を開催しました。参加者は延べ87名でした。

Will クラブ事業部

1. 定例会 毎月（8月を除いて）、テーマを決めて学習会、年齢別情報交換をしました。
2. 進路報告会
3. ハローワーク勉強会
4. 勉強会
 - ①「社会に出る前に身に付けておきたいこと」
講師：療育アドバイザー 松本太一氏
 - ②義務教育後の進路選択について（単位制の高校の先生をお招きして）
 - ③学校現場における合理的配慮について
5. 座談会
 - ①「お片付けについて」
 - ②子供向けボードゲームのワークショップ
講師：療育アドバイザー 松本太一氏
6. 講演会
高機能自閉症、アスペルガー症候群のための支援
「不登校・ひきこもりからの一歩 ～保護者や支援者にできること」
講師：医療法人清和会浅井病院心理科 副科長 森美栄子氏
7. 余暇支援
鉄道部 生活支援ワーカー 市岡武氏 企画 引率
長期休み毎に年間3回決行 春、冬休み：日帰り 夏休み：1泊
8. 親子レク
葛西臨海公園にて水族館見学&デイキャンプ定例会 毎月（8月を除いて）、
テーマを決めて学習会、年齢別情報交換をしました。
9. 学校現場における合理的配慮の聞き取り調査をしました。

世界自閉症啓発デーイベント

千葉県発達障害者支援センターCAS、千葉市発達障害者支援センターと「世界自閉症啓発デーちば実行委員会」を組織し、ジェフユナイテッド市原・千葉と千葉大学子どもこころの発達教育研究センターとの協力をいただき、下記の通り啓発イベントを行いました。

◆事業名：第8回世界自閉症啓発デーin ちば『みんな大切な仲間です』

◆日 時：平成28年4月2日（土）11：00～17：00

◆会 場：千葉市きぼーる 1階アトリウム

◆内 容 ・ミニコンサート

・キャラバン隊『空』公演

・リオマルカバンド演奏

・劇団J AMBO公演

パネル展示

支援グッズの展示

当日のイベントの他に3月26日にフクダ電子アリーナで試合前の選手の方々と一緒にチラシとノベルティの配布を行いました。また、「キャラバンステーション」として、成田駅（3月2日）木更津駅（3月9日）柏駅（3月16日）我孫子駅（3月18日）松戸駅（3月23日）流山おおたかの森（3月29日）千葉駅（4月2日）において、他に4月2日当日には千葉中央公園周辺ときぼーる周辺でチラシとノベルティの配布を行いました。

これらを含め配布した総数はチラシが12000枚、ノベルティ（ボールペン）が6000本となりました。